

# 経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

長崎県 松浦市

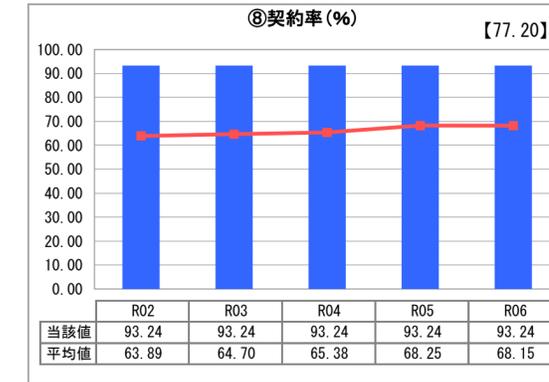
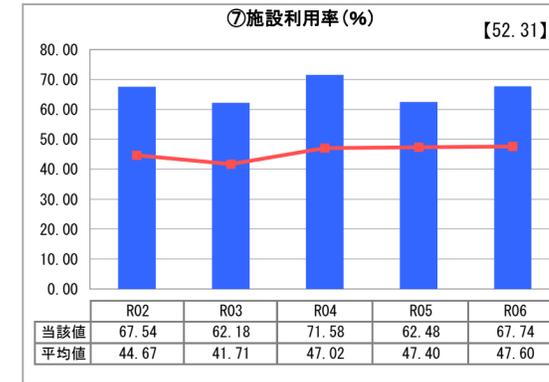
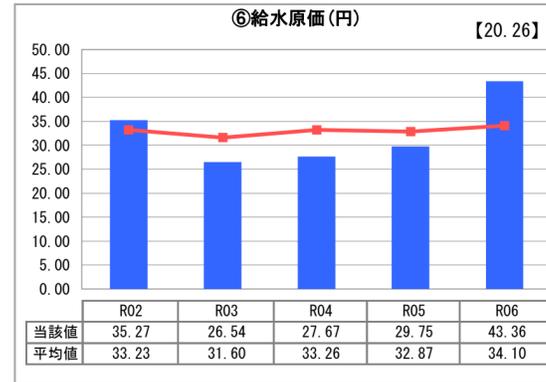
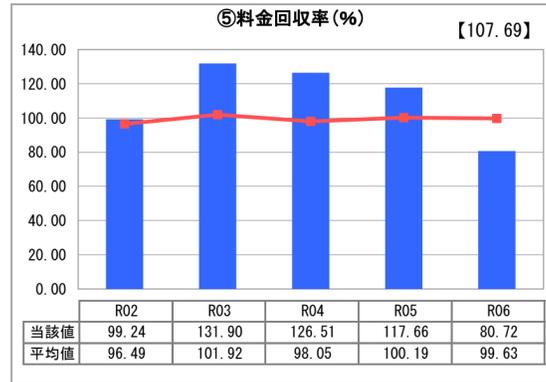
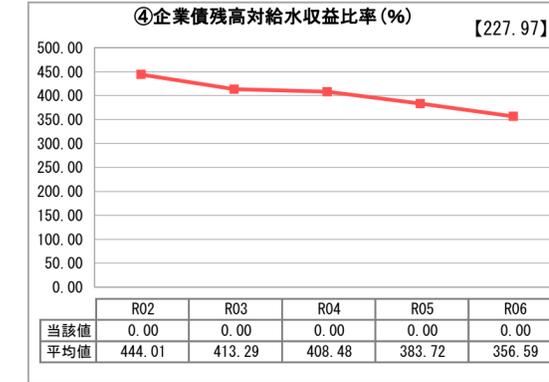
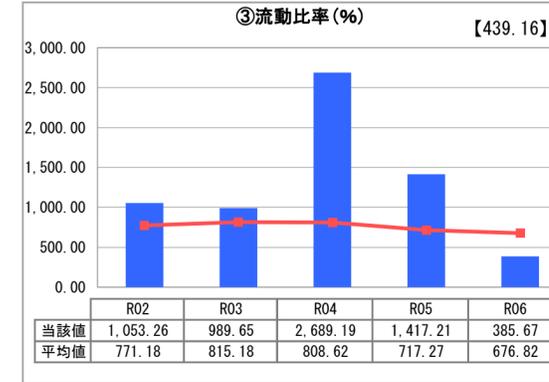
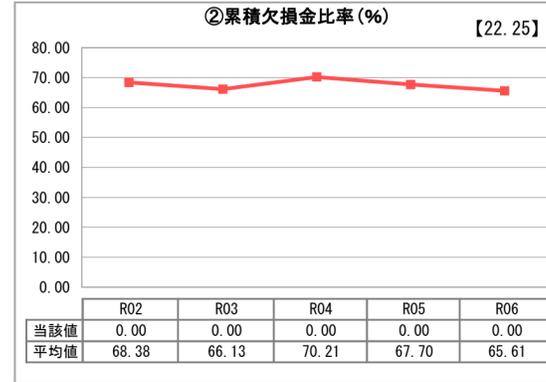
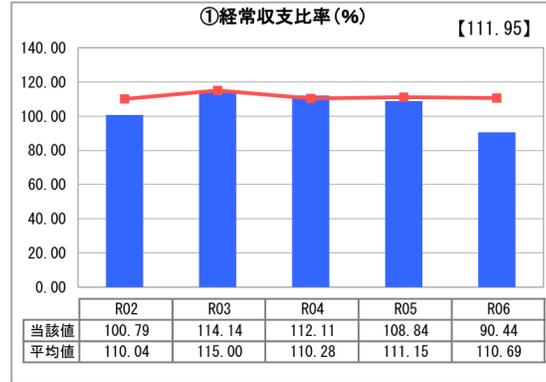
【事業概要】

業務名 法適用	業種名 工業用水道事業	現在配水能力(合計)(m <sup>3</sup> /日) 17,000	類似団体区分 小規模	施設数 1	1日平均配水量(m <sup>3</sup> ) 11,516
資金不足比率(%) -	自己資本構成比率(%) 96.7	給水先事業所数 2	契約水量(m <sup>3</sup> /日) 15,850	管理者の情報 非設置	

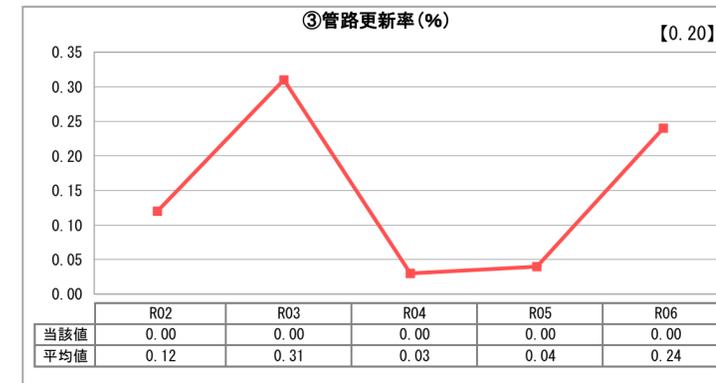
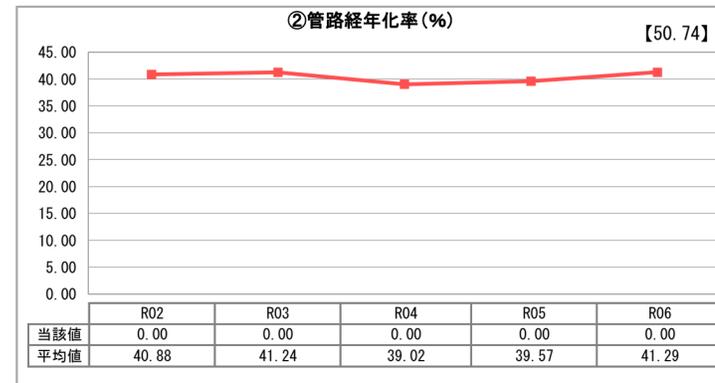
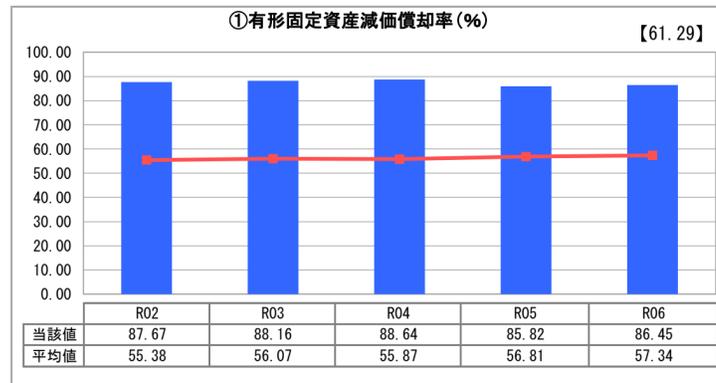
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①例年100%を超える水準で推移しており比較的良好であったが、令和6年度は債務負担行為で実施した業務委託が完了したことや、修繕費の支出が多く100%を下回った。今後も老朽化した施設の修繕、更新工事が見込まれることから、100%超を維持するため収益の確保が必要である。

②累積欠損金なし。

③流動比率は今年単年度での機能保全計画策定業務委託料の支出が多かったため前年を下回った。通常は類似団体の平均値も上回っており、現状の支払い能力は良好といえる。

④企業債残高なし。今後施設の修繕、更新工事のため企業債の発行を検討している。

⑤料金回収率は今年度支出増により100%を下回った。今後、施設の老朽化に伴う修繕、更新工事を行うことにより、料金回収率が悪化することが見込まれるため、給水原価を抑えるとともに適正な料金設定が必要である。

⑥近年給水原価は類似団体平均値を下回っていたが、今年度は施設の修繕等を行ったことで類似団体平均値を上回った。今後、悪化することも見込まれるため、費用抑制に向け効率的な経営を行う必要がある。

⑦効果的な施設利用がなされている。

⑧適切な規模の投資ができています。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は依然として80%を超える高い水準にあり、類似団体平均値よりも高めとなっている。今後も計画的な施設の更新が必要である。

②管路経年比率は発生していないが、今後耐用年数を迎えることから、計画的な管路の更新が必要である。

③当該年度の管路更新なし。

### 全体総括

工業用水道事業の経営状況について、事業運営に要する費用は支出が多かった今年度を除き料金収入で賄っており、累積欠損金、企業債残高もなく比較的安定した状態にある。

しかしながら、今後老朽化が進む施設の大規模な修繕、更新工事を控え、投資費用が高い水準で推移することが見込まれることから、施設規模の見直しや、計画的な修繕を行う。また、更新工事の計画を策定することで財源の確保を図り、健全経営の維持に努めていく。